

コラム

編集・発行：金浦区自治会
発行日：2021・1月2日

12月5日（土）、梁瀬地域自治協議会主催の「やなせ未来会議」が開催されました。最終回となる



4回目に金浦から1名（区役員）参加しました。10年後の梁瀬に向けて具体的に何をどうするかについて話し合いました。「自然・農業」をテーマに6名が、「やなせブランドの創設」の具体策について意見交換しました。付加価値を意識した野菜栽培を実現するには、夜久野高原（山東町エリア）が適地としました。仮称「茶堂野菜」と銘打って黒土栽培に適した野菜をピックアップする・地元の耕作者に聴き取り・専門機関の活用（緑化センター等）・休耕田の利用・補助金やクラウドファンディングの資金

調達・市のまちづくり計画や産業振興課や地域交流部会との連携・マンパワー（労働力）・情報発信・販路の確保（例：西宮市）が必要として、左記のようにプロジェクトシートにまとめていきました。

最後に、参加者約40人に対して6つのテーマ部会からの報告を聞きました。来年度は、実現に向けてアクションスタートするべく具体化に向けた検討を継続することを確認しました。

金浦区活性化のひとつの舞台が身です。関心を持ちながら関わることで光明が見いだせることを期待します。